
勇気を出して

クノウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇気を出して

【Nコード】

N1356A

【作者名】

クノウ

【あらすじ】

AIRの短編ストーリー。

今は放課後。HRも終わりみんなは仲の良いグループになって話している

「ねえねえ、正巳。」「なに？幸子」

「あと少しで夏休みじゃない。だからさ、恵美子とかも誘って何人かで一泊旅行に行かない？」

「あ、いいねそれ。やっぱり避暑地とかかな？」「山でキャンプもいいよ」「そうだね」

「おい健吾、夏休みになったらどっか遊びに行かねえか？」「ああ、何処に行くよ？」

「俺さ、まだ行った事ないから七本木ヒルズ行ってみてーんだ。」

「お前まだ行ってないのか？いいぜ、翔太も誘って行こうぜ。」「よし、約束な」「ああ。」

みんな、もうじき始まる夏やすみの予定を話している。とても楽しそうだ……

でも、誰も私には声をかけてくれない。

いや、いたにはいたのだが…

私の『発作』のせいで、その人たちも私から離れてってしまった

私は、そんなみんなの楽しそうな様子を見ていることしかできない

帰り道、私は海に行ってみた

「あれ？あの人誰だろう……」見たことがない人が堤防に座っている
私はその人の側に行ってみる

「こんにちは、あれ？寝てるんだ。」

その人は疲れてしまっているのか、ぐっすりと眠っている

「じゃあ、起きるまで待つてよつと。この人どこの人だろう？この
辺りじゃ見ないよね。」

私はそのまま数時間海を眺めていた。でも、その人が起きる気配は
なかった

「もう夕方になっちゃった。私ももう帰らなくちゃ。じゃあね、お
兄さん。」

いまだに眠っているその人に挨拶をして、家に帰った

翌日

放課後…

今日もみんなは夏休みの予定について話が盛り上がってる。今年は
高校最後の夏だ。

やっぱりみんなも思い出に残る夏にしたいのだろう。日に日に浮き
足立っているのがわかる。

（私も誰かと“最後の夏”を遊びたい……　まずは勇気を出さない
とね、うん。）

「ね…ねえ」「ん、どうしたの？」「あの、あの……」

「ゆう」「あ、凜だ。ごめんね、ちょっと呼ばれてるから。」「
ううん、いいの。じゃあまたね。」

そう言つて分かれた相手の顔は、どこかホツとした様だつた……

「やっぱり私には、友達ができないのかな？　なんで私には病氣があるのかな？　なんで『一緒に遊ぼう』って言えないんだろ？　なん
で……」

こんな時は海に行つてみる。嫌なことがあつたときは海に来るよう
にしている。ずっと眺めていると元氣が湧いてくる……そんな氣が
するから。

海に来た。今日もあの人が昨日のところに座つてる。それに、今日
はちゃんと起きているようだ

「あの人昨日もいたよね、暇なのかな？」

ふと考えてみる。

あの人はこの町のことを知らない。当然私のこと也不知道。私も
あの人のことを知らない。

あの人なら、お互いに何も知らないところから始められる。

あの人となら『ともだち』になれるかも。

あの人となら一緒にたくさん遊べるかも……

自然と足が動き出す。

今までの私を変えるために

勇気を出して

言おう。

「こんにちはっ、でっかいおむすびですねっ」

私達の“最後の夏”が始まった……

～ f i n ～

（後書き）

< font size="1">これは、あるゲームのSSです。知ってる人にはわかるゲームですが、今回ののは他のサイトに投稿したのを少しいじってみました。

このゲーム、私は泣きました。本当に泣きましたよ。

“最後の夏”と言ったように、ヒロインと主人公は最後には死んでしまか、消えてしまうんです。歌や音楽も凄くよくて、サントラも買いました。

今年映画化するという事なので今から楽しみです。

この話はフィクションです。出てくる場所や人物は実在しません………と言いたいけど、クラスメイトには自分&身内等の名前使いました、正直考えるのが面倒だったから。

こんな名前の付け方ばっかし………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1356a/>

勇気を出して

2010年10月19日11時46分発行